

2013 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	国際比較政治研究所
評価基準 8	社会連携・社会貢献
点検・評価項目(2)	8-2 教育研究の成果を適切に社会に還元しているか。
評価の視点	教育研究の成果を基にした社会へのサービス活動
	学外組織との連携協力による教育研究の推進
	地域交流・国際交流事業への積極的参加
点検・評価項目(3)	8-3 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

II 【点検・評価項目ごとの現状説明】

8-2	<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準 7 で記したように、適宜、研究成果を出版している。 ・毎年 11 月に行うシンポジウムでは、広く学外に広報活動を行い（大学 HP、高島平新聞への掲載など）、地域住民に参加を呼びかけている。 ・共同研究プロジェクトには研究課題に応じて客員研究員として学外者、たとえば自治体関係の研究プロジェクトでは板橋区役所職員の参加を得ている。 ・『国際比較政治研究』（年報）と『ICPS ニュースレター』を全国の大学図書館に送付し、成果の社会への還元を図っている。
8-3	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会で検証している。 ・年報と ICPS ニュースレターの送付に併せてアンケートを行っている。

【効果が上がっている事項】

8-2	・共同研究プロジェクトに地方自治体職員が客員研究員として参加している。
8-3	

【改善すべき事項】

8-2	・シンポジウムへの地域住民の参加が少ない。しかし、有効な改善策を見いだし得ていない。
8-3	・年報／ニュースレター発送時に行うアンケートの回収率が低い。しかし、有効な改善策を見いだし得ていない。

III 本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

年報、ICPS ニュースレター、運営委員会議事録

【2014 年度からの達成目標】

【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価					
			2014	2015	2016	2017	2018	
中期目標 (2014～ 2018)	・研究所と地域社会との結びつきを強める。	・シンポジウムに一般市民の参加がある。 ・自治体職員の参加を得た共同研究プロジェクト・チームが編成されている。	→					
14 年度 目標	・シンポジウム開催について広く地域社会に宣伝する。	・地域社会の広報紙（「板橋区だより」「高島平新聞」）にシンポジウム案内が掲載されている。	→					